

## PDF ( Portable Document Format ) による原稿の作成上の注意

### < PDF とは？ >

PDF は Adobe Systems 社の開発した、電子文書のためのフォーマットです。WORD などのレイアウトソフトで作成した文書を、コンピュータの機種や OS に依存されずに、オリジナルのイメージ通り比較的忠実に再現できます。文字情報のみでなく、フォントや文字飾り、埋め込みの図表、それらのレイアウトなどの情報を保存できます。このファイルを開覧するためには Adobe 社よりフリーで提供されている Acrobat Reader を用いれば良いですが、当初はファイルを作成するために、Adobe Systems 社の Adobe Acrobat を購入する必要がありました。

しかし、近年ではより安価なプログラムが販売されており、ファイル作成操作中のバナー広告がでることさえ厭わなければ、フリーのソフト ( XELO など ) も提供されています。また、PDF への変換によって、ファイルのサイズを小さくすることができ、E-mail への添付ファイルとしても適しています。一般的に PDF ファイルは全文検索が可能であり、資料をライブラリー化するのにも適しています。

### < 元原稿ファイルの作成、および PDF ファイルへの変換のコツ >

これらのソフトの導入や操作方法は、PDF ファイル作成時の注意事項をまとめた ( <http://www.isij.or.jp/Josei/2005/Jpdf.htm> ) をご参照願います。

#### ファイルサイズ :

- ・ PDF ファイル変換後のファイルの大きさは 2 MB ( メガバイト ) 以下でお願いします。  
2 MB 以上の添付ファイルは協会事務局のサーバーが受け付けられません。  
ビットマップの図、写真を含め、元ファイルで 3 MB 以下のファイルであれば PDF 変換後は通常 2 MB 以下になります。

#### 写真を埋め込む場合 :

- ・ スキャナーから取り込み時に解像度を 300DPI 以上で取り込み、張り込む大きさより大きい目の写真とし、WORD の中で大きさを調整して下さい。

小さい写真を大きくすると画質が劣化する場合がございます。

カラーの写真、図はできるだけモノクローム ( グレー ) に変換してから取り扱うとファイルサイズが小さくなります。また、グラフもシンボル、線などを黒だけで分別できるように表す必要があります。カラーのまま貼り付け、原稿をご提出いただきますと、印刷後、線が薄くなるなど見えにくくなる場合がございます。

#### 図表を埋め込む場合 :

- ・ EXCEL などのソフトで作成した図、グラフは「編集 形式を選択して貼り付け 図 ( 拡張メタファイル ) 」などとし、ツールバーの貼り付けボタンや、「編集 貼り付け」、「編

集 形式を選択して貼り付け Microsoft EXCEL グラフオブジェクト」などとしないうがファイルの大きさが小さくなり、取り扱いやすくなります。

「グラフオブジェクト」で貼り付けた後、WORD などでグラフ全体の大きさを変化させると、凡例の枠の大きさ、記号や文字の大きさ等の比率が変化する場合があります。PDF への変換後のファイルの大きさはどの方法で行われても同じです。

- ・WORD に EXCEL のグラフなどを貼り付けるとき、直接テキストボックスに形式を指定して貼り付けると EXCEL グラフオブジェクトしか選択肢が無い場合があります。この時はいったんテキストボックスの外に「図( 拡張メタファイル )」形式で貼り付け、それを改めてテキストボックスに貼り付けて下さい。
- ・EXCEL など、印刷時に文字が枠内で切れたりする場合は、PDF 変換後も同じ現象となります。必ず PDF 変換後、プリントアウトしてご確認ください。
- ・変換時の種々の設定が必要なソフトを使用する場合には、レイアウトソフト上での見栄えと同じようにするため、
  - \* フォントの埋め込みを可能にすること。
  - \* 写真、ビットマップ図の変換時の圧縮率の設定を最適化すること。など注意する必要があります。特に圧縮率は、見栄えと変換後のファイルの大きさを確認しながらの試行錯誤が必要です。

#### < PDF ファイルへの変換が上手く行かない場合 >

上記方法にて変換が上手く行かない場合は、お手数ですが下記手順をお試し下さい。

作成した原稿をプリントアウトする。

プリントアウトした原稿をスキャナーにて読み込み、PDF ファイルに加工。

(スキャナーによる読み込みは 300DPI 以上であることが望ましい。)

以上